



西会津中学校 学校だより

雄飛

【教育目標】
未来の可能性を創造していく生徒

令和4年4月19日発行
4月号 No.1
発行者 校長 佐藤 崇史

自主

自律

敬愛

健康

令和4年度のスタート～新入生33名、夢や希望を胸に入学～

令和4年度がスタートし、暖かな日差しのもと、入学式を挙行することができました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために、在校生は参加しないなどの制限の中での実施ではありましたが、新しい制服を身にまとった新入生は、緊張しながらも立派な態度で臨んでいました。生徒会長の須藤柊くんから歓迎の言葉が新入生に送られたあと、新入生代表の中村玲菜さんが誓いの言葉を述べました。中村さんの「小学校の卒業式で誓った目標をかなえるためにも、前を向いて一歩ずつ確実に進みたいと思います」という堂々とした言葉に、これからの新入生の明るい未来を感じました。未来は自分次第。教職員全員で応援しています。



～入学式の式辞の一部を紹介します～

皆さんが生きる社会は、予測することが困難な変化の激しい社会です。そのような社会で生きていくためには、変化の中にあっても一人一人が「自分のやるべきことに気づき、どのようにすればよいかを考え、正しく判断して行動する力」を身に付けることが大切になってきます。つまり、「自律」の精神が必要なのです。そのような力を中学校三年間で身に付けるために、皆さんに大事にしてほしいことがあります。

一つ目は、「失敗を恐れず、たくさんのことに挑戦する」ということです。中学校生活では、夢や希望をもって、多くのことに挑戦してください。その時に大事なことは、失敗を恐れずチャレンジして、最善を尽くすことです。たとえ失敗してもそこからたくさん学んでください。大切なことは、失敗しないことではなく、挑戦することです。挑戦なくして、成長はありません。

二つ目は、「さまざまなことに気づき、感動する感性を磨く」ことです。自分で気づき、考え、実行するには、様々な目の前の出来事や体験からたくさんのことを感じることに気づくことが大切です。いろいろなことに自ら気づく感性を大切に、多くのことから学ぼうとしてください。

三つ目は、「人とのつながりを大切にすること」です。自律とはいっても、人は一人では生きてはいけません。周りの人に生かされていることを忘れずに、周りの人を生かすことを大切に、互いに認め合い、励まし合い、高め合って、苦しいときこそ、助け合うことを大切にしましょう。

最後に、「当たり前のことを、きちんとやれる」人になりましょう。当たり前のこととは、例えば、あいさつをする、時間を守るといったことです。自律といっても、自分勝手な判断は周りから信頼されません。逆に当たり前のことがきちんとできる人は周りから信頼されます。人から信頼されると、自分が伸びるための機会がどんどん増えていくのです。

これからの中学校生活、みなさんのたくさんの輝く笑顔と、「自律」に向かって全力で努力する姿に出会えることを楽しみにしています。

今年度も「言葉」を大切に、多くのことを生徒たちに伝えていきます。
～脳は、2割の映像と8割の言葉でつくられている（永松茂久）～

今年度着任した先生方(4/6着任式より) ～一緒にたくさん学びましょう～



- 転入職員紹介(写真の向かって左からの順になります)
- 教頭 二瓶 孝弘 (いわき市立平第三中学校より)
 - 教諭 佐藤 祐雄 (会津若松市立第三中学校より)
 - 教諭 石井 弘 (会津若松市立一箕中学校より)
 - 支援員 紫藤 大地 (新採用)

※写真にはおりませんが、美術の非常勤講師として三浦克之先生が11日から着任しています。

「自律」へ向けて「凡事徹底」「利他共生」をモットーに ～今年度の学校経営～

入学式の式辞で新生児に語ったことが、今年度の西会津中学校の目指す生徒の姿です。さらに素敵な西会津中となるよう、全力で取り組んでまいります。教育目標「未来の可能性を創造していく生徒の育成～自主・自律・敬愛・健康～」のもと、「気づき、考え、実行できる生徒」を目指し、次の二つのことをモットーにします。

○凡事徹底・・・当たり前のことを馬鹿にすることなく、きちんとできる人になる

○利他共生・・・周りの人に活かされていることを忘れず、周りの人を生かす人になる

そして、夢（失敗を恐れず、夢に向かって前進する）、感動（心を動かす出会いを大切に、完成を磨く）、自信（自分自身を認めて、根気強く努力する）を大切にして、さまざまな教育活動を進めていきます。詳細は、ホームページに「令和4年度グランドデザイン」を掲載しましたので、ぜひご覧ください。

生徒会対面式 ～生徒会活動、部活動から自律するために必要な力を～

昨年度もたくさんの素晴らしい「自律」の姿を見せた西会津中の生徒会活動や部活動。今年度も一年生にその良さや特徴を伝えようと生徒会対面式が実施されました。コロナ対応による制限がある中でしたが、2、3年生が工夫を凝らして発表する姿はさすが西中生です。生徒会活動、部活動ともに、生徒が主体の活動です。まさに、自律するために必要な力が身に付く場です。二つの活動ともに一生懸命やればやるほど、自分で気づき、考え、行動することが重要になってきます。自ら目標をもち、主体的に取り組むことを期待しています。



台湾の台南市政府から本を贈答いただきました



昨年に引き続き、台湾との交流が実現しました。台南市から西会津中の全校生徒に贈り物が贈られ、14日に贈呈式が行われました。今回は、台湾最大の穀倉地帯を生み出した烏山頭の設計者である八田與一（はったよいち）の功績と、その当時の風景を描いた芸術家・伊東哲（いとうさとし）の視点がストーリーとなった「1930 台湾烏山頭～水がめぐる平野の物語」の本が贈呈されました。また、台南市政府文化資産管理所所長の林喬彬（リン・チャオピン）様にもオンラインで参加いただき、最後は記念写真も撮影しました。

生徒を代表して、3年の齋藤愛華さんが「今まで知らなかったことを知ることができ、これからもこのつながりを大切にしていきたいと思えます。そして、将来、この中から多くの人が台湾と西会津を行き来できるようになることを期待しています」とお礼の言葉を述べました。いつか本当に生徒が実際に台湾と行き来できることを願っています。

新型コロナウイルス感染症対策の徹底

福島県全域に出されていた感染拡大防止重点対策が5月15日（日）まで延長されました。

感染対策としては、何よりも「マスク着用」「手洗い・うがい」「こまめな換気」が大事です。その上で、「感染リスクの高い活動」（部活動において実施する場合を含む）については、感染症対策を徹底した上での実施、部活動についても、感染対策を徹底しての実施となります。

なお、現在、県内においても子どもの感染による家庭内感染が増えております。ご家庭においては、体温測定や体調の確認などを毎日実施し、少しでも体調に異変がある場合には、お子さんを登校させずに、早めの受診をお願いします。